

令和8年度 学校コンプライアンス委員会実施計画

阿見町立舟島小学校

1 ねらい

- (1) 教職員一人一人が教育公務員としての使命と責任を自覚するとともに、高い倫理観や規範意識の向上を図る。
- (2) 教職員同士が互いに声を掛け合い、風通しのよい働きがいのある職場環境の改善を図る。

2 構成 委員長 教頭 宮本 卓也

委員 塚本 大暉 坂本 翔

3 主な活動内容

- (1) 学校コンプライアンス推進のための研修の企画・運営（研修は職員会議時に数分程度で実施）
- (2) 教職員が互いに相談し合える体制づくり

4 年間計画案

月	内 容	担 当	形態
4	○ 服務規律の確保、年間研修計画提示、飲酒運転、交通事故、交通違反 飲酒運転根絶確認書作成	★教頭	職員会議
5	○ コンプライアンスに関する面談（教員評価の面談時） ① コンプライアンス研修「体罰・不適切な指導の防止」	校長、教頭 ★井坂	面談 職員会議
6	② コンプライアンス研修「学校徴収金」	★結束	職員会議
7	③ コンプライアンス研修「飲酒運転防止」 ○ 信用失墜行為防止セルフチェック	★堂込・坪井	職員会議
8	④ コンプライアンス研修「盗撮の防止」	★坂本・塚本	職員会議
9	⑤ コンプライアンス研修「メンタルヘルスケア」	★横井・野沢	職員会議
10	○ コンプライアンスに関する面談（教員評価の面談時） ⑥ コンプライアンス研修「個人情報」	校長、教頭 ★小沼・正木	面談 職員会議
11	⑦ コンプライアンス研修「わいせつ行為の防止」 ○ 信用失墜行為防止セルフチェック	★高安	職員会議
12	⑧ コンプライアンス研修「飲酒運転防止」	★竹内・高橋	職員会議
1	⑨ コンプライアンス研修「SNS利用トラブルの防止」 ○ コンプライアンスに関する面談（教員評価の面談時）	★今村・柏戸 校長、教頭	職員会議 面談
2	○ 信用失墜行為防止セルフチェック	★(CP委員)	職員会議
3	○ コンプライアンス研修⑧「信頼される教師とは」	★校長	職員会議

5 研修方法

- 短時間での研修を行う。必ず、全教職員が実施するように、担当の（ ）に、★の付いていない教職員が入る。
- 研修方法については、各自で工夫する。（例：事例研修、新聞の切り抜き活用、全員でかけ声を掛けるなど負担にならない程度で、実効性のある研修にしていく。）

6 その他（定 義）

「コンプライアンス」とは、一般的に「法令遵守」と訳されるが、教職員は職務の内容から社会的に与える影響が大きく、法令だけでなく、社会の規範やルール、マナーを遵守することが強く求められる。

そこで、教職員一人一人がコンプライアンスに対する認識をしっかりとち、校長のリーダーシップのもと、学校が一つのチームとして、コンプライアンスの確立に向け、取り組むことが必要である。

つまり、学校におけるコンプライアンスとは、学校と教職員一人一人の社会的責任であり、学校又は教職員が、保護者や地域社会から学校に寄せられる期待や信頼に応えることである。